


<p>学校教育目標</p> <p>自ら輝け 夢をつかめ</p> <p><笑顔・感動 はつらつ植水></p>	<p>学校だより</p> <p>瑞穂</p> 	<p>令和2年度8・9月号</p> <p>令和2年8月17日</p> <p>さいたま市立植水中学校</p>
---	---	---

自ら学ぶ『自ら輝け』ということ

校長 茂木 里仁

今年8月に入ったと同時に、例年にない猛暑となった夏休みでした。新型コロナウイルス拡散防止の臨時休校による授業確保のため、わずか16日間の夏休みもあったという間に終わり、今日からいよいよ1年で最も長い2学期が始まります。今年の夏休み、生徒の皆さんは「自分だけの夏休み」を過ごすことができたでしょうか？学校では、7月に「朝チャレ（数学・国語好きを増やす取り組み）」を実施し、延べ86名が校長賞（全て満点）を受賞し、延べ106名が教頭賞（少し不正解）を受賞しました。おめでとうございます。今回受賞できなかったみなさん、あきらめないうで、次の「朝チャレ」こそ自ら学び（努力し）頑張ってください。部活動では、ほとんどの部で三年生が引退し、新体制のスタートとなりました。どの部も真夏の暑さの中、毎日汗を流し、互いに声をかけ合いながら練習に励んでいました。今後の活躍を期待しています。



さて、以前私がある先生から聞いた話をします。ある日、国語でローマ字の授業をしていました。「じゃ」「じゅ」「じょ」という音がまじった言葉を探し、ローマ字に表す学習をしていると、一人の子が「じょうろ」と言いました。お花に水をかけるあの「じょうろ」です。さっそく、みんな「じょうろ」と書き、ローマ字で書いてみようということになりました。すると、別の子が「これって平仮名ですか？それともカタカナですか？」と言いました。確かに「じょうろ」のようでもあり「ジョーロ」のようでもあります。平仮名で書くのであれば日本語です。カタカナなら外来語です。さっと国語辞典に手を伸ばして調べ始める子もいます。「先生、辞書には『じょうろ』って平仮名で書いてあります」「じゃ、きっと日本語だね」ということで納得し、「zyouro」と書きました。授業が終わって休み時間のことです。Aさんという生徒が別の辞書を持ってきました。「先生ここには『如雨露』って書いてあるけど、本当に日本語かな？」と質問してきました。その先生は次の授業の準備があったので「さあ、どうだろう？」ときちんと取り合うことなくその場は終わりました。

すると翌日、また、Aさんがやってきて言いました。「先生、ポルトガルってどこにあるか知ってる？」「え？ポルトガル？どこだろう？でも、なんでそんなこと聞くの？」と返答すると一枚の紙を手渡しました。そこには、鉛筆でヨーロッパの地図が描かれて、ポルトガルの位置が示されていました。そして、その地図の下に、「じょうろ＝ポルトガル語」と書かれていました。

Aさんの学びを振り返ってみましょう。国語の時間にローマ字の学習で「じょ」のつく言葉を探していました。誰かが「じょうろ」と言いました。それが日本語なのか外来語なのかが話題になりましたが、日本語だろうということで授業は終わりました。しかし、そのあと一人で辞書を調べ、『如雨露』という漢字は、外来語に当てはまらないかと考え、自ら調べてきました。しかも、世界地図でその言葉の生まれた国まで調べています。「自ら学ぶ」と言いますが、みなさんもこういう学び方ができる生徒になってほしいと期待しています。